

女子学院中-対策法

社会 (100点/40分)

【1】【 2006年出題内容 】

2006年の出題内容は、㊦2005年の国際情勢、戦後の世界と核、㊧アジア外交史、㊨工業と貿易、となり、例年通り、政治・歴史・地理の順での大問3題構成でした。設問数が74問と減少した分、8割程度の得点がないと合格は難しい内容です。

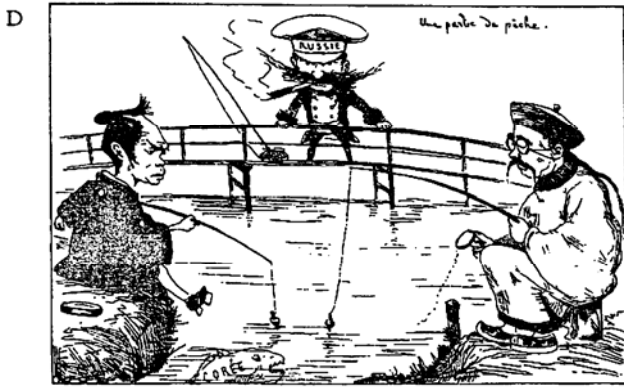
【2】【 傾向と対策 】

JG社会に必要なのは、各分野の体系的な理解、すばやい処理能力、記述の正確性(漢字を正確に書くことはもちろんです)、時事問題の理解、が挙げられます。

地理については毎年日本全図が出題されると考えてよいので、正確に再現できるようにしておかなければいけません。「日本国勢図会」も頻繁に参照するクセをつけておきましょう。

また、下に掲げた今年の歴史資料は、だれもが一度は目にしたことのあるものですが、なんとなく見ていただけの人は解答するのに苦労したはず。手当たり次第に図表を眺めるよりも、どのテキストにも載っているような図表の背景や意義について正確に説明できるようにしておくべきでしょう。大きな得点源になるはず。

時事問題については産業問題(公害・貿易摩擦)のほか、政治問題(汚職など)も出題されます。これに対しては、毎年11月に出版される「重大ニュース」を読むことが一番よい対策になるでしょう。



【3】【 JG社会 合格への道程 】



合格可能性 80%



合格可能性 50%



合格可能性 10%

偏差値 (四谷) 君の学年	51~55	56~60	61~65	66~70
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

JGの80%合格圏(4科)は、四谷大塚で偏差値70以上、センター模試で偏差値65以上、サピックスで偏差値58以上、が目安です。

JGの社会は全分野から万遍なく出題されるとともに、設問数がとても多いですが、知識が正確であれば特に困難を感じることはありません。入試までの長期計画を立ててじっくり取り組んでいきましょう。目標としては、6年の夏には偏差値63~67以上を確保したいところです。その後は、過去問を用いて時間内に正確にアウトプットできる練習をしましょう。